

# DABO

## 5TH ALBUM

# HI-FIVE

## 2010.11.3

# RELEASE



TOCT-26997 SPECIAL PRICE 1,980Yen (Tax In)



ジャパニーズヒップホップシーンの中心的存在の一人、DABO (ダボ) の4年ぶり・5枚目となるオリジナルアルバム作品「HI-FIVE」が完成！近年活性化を見せるシーンの中でベテランの一人として放つしっかりとした存在感と、豪華ゲスト陣も含めた潔手を世界版で「DABO IS BACK!」を印象付けるアルバム。今回初の試みとして、DABOの盟友であり日本を代表するHIPHOP DJ、DJ HAZIMEをトータルプロデューサーとして迎えトラック運びの段階から共同制作。今回が初の共演となるロックシーンからのゲスト、KJ (Dragon Ash)を迎えた感謝の歌「AZS」、2010年各地のクラブでプレイされ話題となった現場ヒット「テッパツ進行」、レゲエシーンからの援護射撃 RYO the SKYWALKER との「TEST MI」、仮想的ユニット「CHANNEL 5」のメンバーだった K-BOMB (THINK TANK)、SUIKEN (NITRO MICROPHONE UNDERGROUND) との「Sweet 90's Blues (後方確認)」等々全13曲の強力チューンを収録！

【収録楽曲】

1. カタバルト・デッキ
2. サンテグジュベリ (夜間飛行)
3. ラップ現象 (降臨なう)
4. テッパツ進行
5. ケツにマシンガン
6. Love and Hate
7. TEST MI feat. RYO the SKYWALKER
8. I REP / DABO, ANARCHY, KREVA
9. AZS feat. KJ from Dragon Ash
10. オレヨマケンナ
11. お江戸花吹雪
12. Sweet 90's Blues (後方確認) feat. K-BOMB, SUIKEN
13. KO-KO-DA (エビローグ・ソング)

DABO 「HI-FIVE」 ツアー開催決定！ INFORMATION COMING SOON...



# HARLEM

SPITEM OUT!  
"It's Absolutely Raw!"

MONTHLY  
MAGAZINE

This Magazine gives y'all  
Hip Hop Headz The Real  
Words from the Real Scene...

TAKE FREE

www.-HARLEM-.co.jp

11

November  
2010

Volume 032 Issue 159



COVER INTERVIEW:  
**DJ MOTOYOSI**  
from EVERY SATURDAY PARTY  
"Kings Court"

# NAS

# DAMIAN [JR.GONG] MARLEY

## DISTANT RELATIVES TOUR

### NAS

### DAMIAN "JR.GONG" MARLEY

# 今回限りの スペシャル・コラボレーション・ライブ!!

ヒップホップとレゲエが誇る、2組のカリスマによる超プレミアム・ショウが決定!  
“神の子”2人が紡ぐ究極の化学反応! 2度とない奇跡の瞬間を見逃すな!

### OSAKA

## 2/23 [水]

### IMPホール OPEN 18:00 / START 19:00

TICKET ¥8,500-  
(税込/All Standing)

INFO: キョードーインフォメーション TEL: 06-7732-8888

### TOKYO

## 2/24 [木]

### ZEPP TOKYO OPEN 18:00 / START 19:00

TICKET ¥8,500-  
(税込/1F Standing・2F指定/+1Drink Charge)

INFO: クリエイトイマン TEL: 03-3462-6969

### YOKOHAMA

## 2/25 [金]

### YOKOHAMA BAY HALL OPEN 18:00 / START 19:00

TICKET ¥8,500-  
(税込/All Standing/+1Drink Charge)

INFO: クリエイトイマン TEL: 03-3462-6969

www.distantrelatives.com | NAS MySpace: www.myspace.com/nas | DAMIAN MARLEY MySpace: www.myspace.com/damianmarley

●カメラ・ビデオテープレコーダー・カメラ付き携帯電話等による出演アーティストの撮影・録音は禁止致します。  
●会場内・外で発生した事故・盗難について主催者・会場・アーティストは一切責任を負いません。  
●スタンディングエリアへの未就学児(6歳未満)の出入場はお断り致します。

協力: ユニバーサル・ミュージック  
総合主催/企画/制作/招聘: クリエイトイマンプロダクション

creativeman  
www.creativeman.co.jp

## INTERVIEW: DJ MOTOYOSI

from EVERY SATURDAY PARTY  
“Kings Court”

Cover & Interview Photo by SHINICHIRO SAITO (SPELA)



『今までにないもう一つ上のレベルに行かなきゃいけないのかなって感じるんですよね…』

普段の彼のキャラクターとは異なる意外な一面(?)が伺える。真のDJ MOTOYOSIが、その勤勉で前向きなDJとしてのスタンスを語る。

この1年で上手くバランスが取れるようになったかなって思いますね。

●DJをプレイする時、男性と女性のお客さんのどちらを意識しますか?

基本的には全体を意識してますけど、あんまりフロアが男ばかりになるのもどうかと思うので、結構女の子を意識する時間が多いかもしれないですね。別にモテたいとかじゃなくて(笑)。女の子がフロアで踊って盛り上がると男も暖まってくるし、雰囲気も良くしてくれるから、特に早い時間は“女”を意識する事が多いです。女の子は大半がR&Bが好きなのかなって思うんですけど、自分はどちらかと言うとHIP HOPが好きなので、『この曲は女の子が好きそうだな』とか意識して聴くようにもしてます。例えば、女の子に人気の“SEX AND THE CITY”が映画化されたら何の曲が使われてるかとか、そういうのは気にしますね。けどやっぱり基本的に男らしい曲も好きなので、自分の好きな1曲をかけて男の人が反応してくれたら『ちょっと男の時間イキますか』的な感じになる事もあります。前の人のDJの展開や空気で、『今どこ攻めようか』ってのは常に考えてますね。

“Kings Court”のDJは皆HIP HOPを中心に色々なジャンルをかけるんですけど、HIP HOPじゃない時に手で“Sマーク”をブースに向けてやってくる子がいて、要は『サウスかける』って事みたいで(苦笑)。SAFARIさんはSAFARIの“S”だと思ってブチ上がったたら、実はサウスの“S”だと知ってテンションガタ落ちになったというエピソードもあるんですけど(笑)。1日いたらサウスは何回もかかるんですけどね。お客さんのテンション上げるのがDJだけど、実はDJのテンション上げるのってお客さんだったりするわけで、そのお互いのテンションとか空気がクラブ全体の雰囲気になってると思うから、DJのテンションを下げる事はあまりしないで欲しいかなと。皆が楽しめそうな事考えて1曲1曲選んでるんで。女も男も若い子もベテランのお客さんも、全員をバランス良く楽しませたいって常に意識してやってますね。

●先日リリースされた2枚目のオフィシャルMIX CD “AV8 PRESENTS CELEB PARTY MIX VOL.2”は、割と広い層を狙ってのものだと思いますが。

タイトルと作品のイメージ的なものは先に伝えられていたので、AV8の中でオールジャンルを意識したTOP 40的なイメージで頼まれてるのかなって。普段クラブに来ないような人も知ってるような曲で構成してるってことなんだなって思ってたんですよ。あと、“AV8”の音源って、DJがプレイする中で“飛び道具”的な役割をしてる曲が多いんですけど、1時間のMIXのなかで全部“飛び道具”で聴いてて疲れる作品にはしたくなかったから、そこは結構意識して作りました。

俺は現場が一番大事だし一番好きな場所だけど、そこに更に色んな人に来てもらうためのアプローチが色々ある中で、オフィシャルのCDだとストリートで出すものに比べて明らかに売れる枚数は違うし、そういう意味ではDJっていうものの価値を知ってもらう機会になるんじゃないかなって思ってたんですけど、実際やるってなったら沢山の人が買って聴いてもらいたいし、そこで一般の人が意味が解らないものを作ってもダメだし、オフィシャルだから綺麗もあるしレーベル側の作ってほしいイメージがあるから100%自分のやりたい曲はあるけど、盛り上げなきゃいけないタイミングでは盛り上げなきゃいけないし、そういう意味では

●“Kings Court”は2年目に突入しましたが、最近感じることはありますか?

“Kings Court”は2年目になって1年ちょっと経って、やっと慣れてきたかなって思いますね。主眼目の雰囲気もお客さんに伝わってきていると思うし、1年やってお客さんが入れ替わったり、色々ある中で戸惑いはあるんですけど、それは毎年あることだから、そこでどういうふうに対処するかが1年1年のポイントなのかなって思ってます。普段、SAFARIさんやINOUEさんと『こうしよう』って話したりはしないんですけど、それぞれが自分の時間を好きにやって自分が納得するDJが出来ればいいんじゃないかっていうスタイルでやっているので、そういう意味では三者三様、それぞれの色がちゃんと分かれて3色で出てきてるんじゃないかと。みんなでバランスを取り合うんじゃないかと、みんなが

好きにやって納得いった結果が“Kings Court”だと思ってるから、そういう意味では1年前に比べて『“Kings Court”ってこんな感じ』っていうのは出てきていると思います。HIP HOP中心に色々かけられるし、その中でも個々が推したいものはちゃんと推してるし、週末らしいパーティーになってきているんじゃないかと思っていて。

土曜日は正直、音楽が凄く好きっていうお客さんばかりではないと思うし、でも音楽が凄く好きっていうお客さんも居るんで、自分がやりたいこととお客さんのニーズのバランス取りが難しい曜日だと思うんですよ。その中で3人ともそういうバランスが取れてきたのかなって感じますね。自分も好きな曲とか推したい曲はあるけど、盛り上げなきゃいけないタイミングでは盛り上げなきゃいけないし、そういう意味では

●MOTOYOSIさんはその場の空気を凄く大事にする一方で、『絶対に違う』と思ったことに対しては厳しい一面もありますよね。

お客さんに『俺、DJだから』とか偉ぶることもなく普通に接したいんですけど、よく来て一緒に飲んだりすると勘違いしちゃうお客さんとか出てくるんですよ。VIPに勝手に入って来たりお酒を奢ってもらおうとしたり。知らないところから仲良くなって、凄く仲良くなった後に嫌な感じになっちゃう人が凄く多くて。DJがいて、お酒を作るパーテンがいて、フロアを掃除する人がいて、全部でクラブなわけじゃないですか。そこに対して一銭も金が払えないっていうのはどういうことなのかなって思っちゃうんですよね。もちろんクラブだから音楽がないとダメだし、音楽が一番の売りだと思って自分はやってますけど、そこに裏方がいて初めて成り立つわけで、俺はDJだからってスタッフに偉そうにしたことは無いし。そういう意味では履き違えてるお客さんがたまにいるなって感じるんですよね。

後輩に対しても思うことは、やれ『古い曲教えて下さい』とか『データ下さい』とかいうヤツもいるんですよ。聞かれたら教えてあげるし、ケチだと思われないからデータもあげるんですけど(笑)。でも自分で調べるのがDJだし、自分で調べる中に楽しさがあるからあんまり甘えないで欲しいって思っていて。例えば、A-KAYはマンガが好きなのでマンガ喫茶に付き合ったりしたことあるんですけど、あいつはマンガが好きだからほとんど読んで、全部読むのが2回目とか3回目なんですよ。俺はあんまりマンガを読んで来なかったから、お薦めのそのマンガを初めて読むわけなんですけど、あいつは凄く羨ましがってるんですよね。最初に読んだドキドキ感をこれから味わえるんだって。俺からしたら若手が古い曲を知らないとかいうのも一緒に、一つの曲があったら『これはこのネタを使ってる』とか『あの曲と同じネタを使ってる』とか、これから発見出来るわけじゃないですか。調べたり勉強したりする過程って音楽が好きだったら実は凄く楽しいのに、何でパッとかけたら盛り上がる曲だけつまんで、そこから掘り下げたりしないんだろうなって思うんですよね。好きだから掘り下げろし、好きだから楽しいはずなのにそういうことをやらないヤツを見ると『好きじゃないんじゃないかな』って思っちゃうんですよ。ただいっばいのお客さんの前でDJしている姿にだけ憧れてやってるのかなって思って、そういう人が最近多いように感じるんですよね。

二十歳ちょっとのDJのプレイを聴いた時、ほとんどの子に対して『自分の二十歳の頃より全然上手いな』って感じるんですけど、そう思ったヤツを3年後4年後に見た時に『二十歳そこそこの時は俺より上手かったのに、歳くったらその年齢になった時の俺より全然下手だな』って思うことが多くて、『その3、4年は俺の方が頑張ったのかな』って思うことも多いんですよ。ある程度の位置にいるDJは自分なりに苦しんでそれを乗り越えて今があるわけだから、楽にその位置に行けると思ってるんだったら考えが甘いって気付いて欲しいですよ。今はホントに上手い若手が多いんですよ。俺らがその年代だった時に周りを見渡して『上手いな』って思えたDJの数より全然多いと思うし、HARLEMのOPEN UPも昔は1人とか多くて2人だったのが今は4人くらい居たりするじゃないですか。そういう中で上手くなっていくヤツはどんどん上手くなっていったのは凄く感じるし、土曜日に関してもクレジットはされていないけどSHINOBUとKAZも着実に上手くなっているなって感じて。中には彼らみたいにしっかり頑張ってるヤツもいるから、何かの拍子にどっと台頭してきて困らないように俺らも頑張らなきゃなって思いますけど、頑張りが足りないヤツは絶対にダメになると思いますよね。それぞれのDJがお決まりの必殺ルーティーンみたいなのを誰でも持っているとは思うんですよ。それをボンとやって俺らより盛り上げちゃうことがもしかしたらあるのかもしれないけど、それを毎週継続して更に発展させようと思った時の大変さって、やってみないと解らないことだと思うんですよね。音楽が凄く好きで常に貪欲に取り組んでいる人じゃないと絶対出来ないと思うから、そういうところも忘れなくて欲しいですよ。

●MOTOYOSIさんが目指す理想のDJとは？

自分がプレイしている時のフロアを一番華やかにし

たいと思ってます。チャライ曲をかけていれば華やかになりがちだけど、音楽的にも内容の濃い1時間しているつもりだし、より出来るように日々努力しているつもりです。過去にも諸先輩方で素晴らしいDJはたくさん居たし、HARLEMでやってなくても現在進行形でイケてるDJもいっぱい居るんですけど、その誰でもないDJになりたいっていうのは最近感じていますね。今までの歴史があって遊びに来てお客さんが居る中でHARLEMの帯でプースに立ったら、そのDJは上手くて当たり前だし盛り上げて当たり前だと思われてると思うんですよ。そこで更にお客さんを感動させたり、もっと盛り上げたりするためには今までにないもう一つ上のレベルに行かなきゃいけないのかなって感じる

んですよ。例えばスクラッチが上手いDJは今までたくさん居たけど、海外のDJみたいにガシガシ擦るDJは今まであんまり居なかったから、今は血眼になってスクラッチを練習したりしてて。今って、これまでにないエッセンスやクオリティのものを求められているから手探りで色々やってますね。

土曜日は毎回1,000人近いお客さんが入るから、そこで凄くいいプレイをすれば自分にとってこれ以上ないプロモーションになるんじゃないかなって思うんですよ。そういう場があるわけだから、『誰々っばいDJ』って言われるんではなくてオリジナルなDJ MOTOYOSIを目指して頑張りたいと思っていて。最近よく海外に行ってるんですけど、皆個性がハッキリしてて皆違う曲かけた

りしてるんですよ。向こうには黒人のパーティーもあれば白人のパーティーもあって、色んなパーティーがある中でそうなるとも思うんですけど、日本にいたらどこに行ってもお客さんはほぼ日本人だし求められているものも似通ってるから、結局同じようになっちゃうってこともあると思うんですよね。だけどその中でもスクラッチ一つにしる繋ぎ一つにしる聴いたら『これ、MOTOYOSIがやってるんじゃないの?』って言われるくらいオリジナリティがあるDJになりたいと思ってます。

●年齢的にもキャリア的にもシーンを引っ張っていく存在にならなければいけないと思うのですが、責任感を感じる事はありますか？

HIP HOPだけでもDJ・ラッパー・ダンサーがいて、それぞれ頑張ってる人たちの結果がシーンになっていると思います。情けないかもしれないけど、俺一人でシーンがどう変わるとか背負ってないんですけど、頑張ってる人たちがいるからその頑張ってるヤツの一人でいたいってのはありますね。HARLEMのレギュラーだと年齢的に真ん中位だと思うんですけど、プレイがイケてるってのは年功序列じゃないと思っていて。年上のイケてるDJの人達には『負けねえぞ』って食ってかからないといけないし、下の子たちには『やっば流石だな』と思わせなきゃいけない立場だと思うんですよ。真ん中に挟まれてる分、上にも下にもアピールしないといけない立場と捉えて、年齢とか関係なく皆に競争

意識があればシーンは活性化すると思うんですよね。あと、シーンって『人』だだと思うんですよ。アーティストが増えて、それを求める人が増えればシーンって大きくなると思うから、その中で俺に出来る事があるならストイックに取り組んでいこうかなって思ってます。

●映画やスポーツなど、他のジャンルから自分のDJにインスパイアされる事も多いですか？

24時間DJの事考えてるって言ったら多少嘘になるかもしれないけど、TVを観てたりレストランに食事に行ったり、喫茶店に入ったりしても何がかかっているのは常に気になって。職業病かもしれないですね。『これかけるのアリだな。』とか『皆知ってるのかな、この曲』とか、生活してたら常に気にしちゃうんですよ。1度プレイしてウケなかった新譜でもコンピニでかかっているのを聴いて『コンピニでかかっているから、皆知ってるのかな』って思っかけてみたら、お客さんが大喜びしたりってのが結構あるんですよ。知らぬ間に生活の一部になってるんですよね。そういう意味では、常に普段耳に入る曲が気になるのってプラスになっていると思います。

あと僕は元々映画好きで、昔から観てるつもりだったんですけど、DJで食っていきこうって挑戦し始めた時に先輩が昔の黒人映画やマフィア映画について話してるのを聞いて、意外に観てなかったんですよ。それで『DJならこの映画観とけよ』って教えてもらったんです。自分の認識では1978年くらいからHIP HOPと言われる文化が生まれて、その時代の黒人社会とかHIP HOPが出来るまでとか発展するまでとか、社会的状況を写し出している映画には凄く影響を受けましたね。勿論、映画が全てじゃないと思いますけど、実際タイムスリップ出来ないんで、『この時代の人はこちら精神だったんだな』と、そういうのを知れるのは映画だったりするのかな。中でもやっぱりマフィアモノが好きで、HIP HOPのアーティストに強い影響を与えている“スカーフェイス”なんか好きですね。キューバから移民してきて、人権もない扱いを米国でされつつもまともな仕事に就けなくて麻薬のディーラーからマフィアになってどンドン勝ち上がっていく姿が、黒人が隅っこから音楽でのし上がっていく“HIP HOP”に自分の中では繋がるんですよね。DJとして曲をかける以上、曲だったり時代背景を出来るだけ勉強したら、どっかで選曲に繋がると思うんで。意味的に深いものになるから、文化は学ばなきゃいけないと思ってます。そういうのを知る手段の一つとして映画は凄く重要なと思います。

●どういう人に、どういう男になりたいですか？

難しい事聞きますね(笑)。逆に筋を通せない男にはなりたくないですね。それって人間関係でもそうなんですけど、今はDJしてるからDJに対しても自分を通したいっていうのもあって。俺はDJでやっていくってエントリーしたのは普通の人より遅い25、26歳くらいだったんです。決意したのは1度しかない人生だから。食えないかもしれない、どうなるかもわからないけど『1度好きになったHIP HOP、DJで挑戦してみよう』って決意して、でも最初の3～4年は『上手いかな』、『認めてもらえない』って悩む事も多かったんです。けど、認めてくれない人とか、評価する人に対して卑屈に考えた事は一度もないし、結局それって認めてくれない人が悪いじゃなくて、認めさせられない自分の力不足だと思って頑張ってきたというか。その姿勢はこれからも変わらないし、自分がやってる事を突き通せる男になりたいですね。

●読者にメッセージをお願いします。

土曜日に遊びに来てくれるお客さんには今以上に楽しんでもらえる様に努力していくので、これからも遊びに来て下さい!! “Kings Court”のブログもチェックして下さい!! <http://ameblo.jp/shibuyaharlem/> 

#### - DJ MOTOYOSI "HIP HOP TUNE" BEST 3

“Start It Up”

- Lloyd Banks feat. Kanye West, Swizz Beats, Ryan Leslie & Fabolous

“Like A G6” - FM feat. Cataracs & Dev

“Blow Your Smoke” - Jim Jones

# PARTY SCHEDULE

| SUN                                 | MON   | TUE   | WED   | THU  | FRI   | SAT   |
|-------------------------------------|---|---|---|--|---|---|
| <b>31</b> SORRY...<br><b>CLOSED</b> | <b>11/1</b> SORRY...<br><b>CLOSED</b>   | <b>2</b> EVERY TUESDAY NIGHT<br><b>RED ZONE SPECIAL</b><br>@BX CAFE<br>DJ KOYA, KANGO, KEN-SKE<br><br><small>OPEN: 22:00 ¥3,000/1D<br/>* till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *</small> | <b>3</b> SUNSET the platinum sound Presents<br><b>DANCEHALL FLEX</b><br>@BX CAFE<br>SOUND:<br>SUNSET the platinum sound<br>BURST RISE, SHINING STAR<br>LIVE SHOUCASE:<br>J-REXXX, アダチマン, KOHGO,<br>DANGER SHU, NATER, TOO SINGIN',<br>チャカボイ, YUKARI & MORE and MORE!!<br>リポーター: DJ ヨンコン<br>EARLY WARM UP:<br>IFI RUDEES, STAR FORS<br><small>OPEN: 23:00 *with flyer: ¥500 off!!*<br/>MENS: ¥2,500/1D LADIES: ¥2,000/1D<br/>* till 25:00. LADIES ONLY ¥1,000/1D *</small> | <b>4</b> EVERY THURSDAY NIGHT<br><b>Apple Pie</b><br>@BX CAFE<br>DJ HARUKI, KOMORI<br><br><small>OPEN: 22:00 ¥3,000/1D<br/>* till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *</small>  | <b>5</b> EVERY FRIDAY NIGHT<br><b>PUNCH OUT!!!</b><br>@BX CAFE<br>DJ WATARAI, HAL, SAH &<br>SPECIAL GUEST!!!<br>DJ SHUNSUKE<br><br><small>OPEN: 22:00 ¥3,000/1D<br/>* till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *</small>  | <b>6</b> EVERY SATURDAY NIGHT<br><b>Kings Court</b><br>@BX CAFE<br>DJ SAFARI, INOUE, MOTOYOSI<br>DJ C.T<br><br><small>OPEN: 22:00 ¥3,000/1D<br/>* till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *</small>  |
| <b>7</b> SORRY...<br><b>CLOSED</b>  | <b>8</b> SORRY...<br><b>CLOSED</b>  | <b>9</b> EVERY TUESDAY NIGHT<br><b>RED ZONE</b><br>@BX CAFE<br>DJ KOYA, KANGO, KEN-SKE<br><br><small>OPEN: 22:00 ¥3,000/1D<br/>* till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *</small>         | <b>10</b> SORRY...<br><b>CLOSED</b>   | <b>11</b> EVERY THURSDAY NIGHT<br><b>Apple Pie</b><br>@BX CAFE<br>DJ HARUKI, KOMORI<br><br><small>OPEN: 22:00 ¥3,000/1D<br/>* till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *</small> | <b>12</b> EVERY FRIDAY NIGHT<br><b>PUNCH OUT!!!</b><br>@BX CAFE<br>DJ WATARAI, HAL, SAH &<br>SPECIAL GUEST!!!<br>DJ SHUNSUKE<br><br><small>OPEN: 22:00 ¥3,000/1D<br/>* till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *</small>   | <b>13</b> EVERY SATURDAY NIGHT<br><b>Kings Court</b><br>@BX CAFE<br>DJ SAFARI, INOUE, MOTOYOSI<br>DJ C.T<br><br><small>OPEN: 22:00 ¥3,000/1D<br/>* till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *</small> |
| <b>14</b> SORRY...<br><b>CLOSED</b> | <b>15</b> SORRY...<br><b>CLOSED</b>   | <b>16</b> EVERY TUESDAY NIGHT<br><b>RED ZONE</b><br>@BX CAFE<br>DJ KOYA, KANGO, KEN-SKE<br><br><small>OPEN: 22:00 ¥3,000/1D<br/>* till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *</small>        | <b>17</b> SORRY...<br><b>CLOSED</b>   | <b>18</b> EVERY THURSDAY NIGHT<br><b>Apple Pie</b><br>@BX CAFE<br>DJ HARUKI, KOMORI<br><br><small>OPEN: 22:00 ¥3,000/1D<br/>* till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *</small> | <b>19</b> EVERY FRIDAY NIGHT<br><b>PUNCH OUT!!!</b><br>@BX CAFE<br>DJ WATARAI, HAL, SAH &<br>SPECIAL GUEST!!!<br>DJ SHUNSUKE<br><br><small>OPEN: 22:00 ¥3,000/1D<br/>* till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *</small>   | <b>20</b> EVERY SATURDAY NIGHT<br><b>Kings Court</b><br>@BX CAFE<br>DJ SAFARI, INOUE, MOTOYOSI<br>DJ C.T<br><br><small>OPEN: 22:00 ¥3,000/1D<br/>* till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *</small> |
| <b>21</b> SORRY...<br><b>CLOSED</b> | <b>22</b> <b>DEEP IMPACT</b><br>@BX CAFE<br>DJ MAYUMI, KOMORI<br>SPECIAL GUEST!<br><br><small>OPEN: 21:00 ¥3,000/1D</small> | <b>23</b> EVERY TUESDAY NIGHT<br><b>RED ZONE</b><br>@BX CAFE<br>DJ KOYA, KANGO, KEN-SKE<br><br><small>OPEN: 22:00 ¥3,000/1D<br/>* till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *</small>        | <b>24</b> SORRY...<br><b>CLOSED</b>   | <b>25</b> EVERY THURSDAY NIGHT<br><b>Apple Pie</b><br>@BX CAFE<br>DJ HARUKI, KOMORI<br><br><small>OPEN: 22:00 ¥3,000/1D<br/>* till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *</small> | <b>26</b> EVERY FRIDAY NIGHT<br><b>PUNCH OUT!!!</b><br>"DJ HAL TOKYO CLUB FREAK<br>W NAME EDITION<br>Release Party"<br>@BX CAFE<br>DJ WATARAI, HAL, SAH &<br>SPECIAL GUEST!!!<br>DJ SHUNSUKE<br><br><small>OPEN: 22:00 ¥3,000/1D<br/>* till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *</small> | <b>27</b> EVERY SATURDAY NIGHT<br><b>Kings Court</b><br>@BX CAFE<br>DJ SAFARI, INOUE, MOTOYOSI<br>DJ C.T<br><br><small>OPEN: 22:00 ¥3,000/1D<br/>* till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *</small> |
| <b>28</b> SORRY...<br><b>CLOSED</b> | <b>29</b> SORRY...<br><b>CLOSED</b>   | <b>30</b> EVERY TUESDAY NIGHT<br><b>RED ZONE</b><br>@BX CAFE<br>DJ KOYA, KANGO, KEN-SKE<br><br><small>OPEN: 21:00 ¥3,000/1D<br/>* till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *</small>        | <b>12/1</b> SUNSET the platinum sound Presents<br><b>DANCEHALL FLEX</b><br>@BX CAFE<br>HOST SOUND:<br>SUNSET the platinum sound<br>SOUND:<br>BURST RISE, SHINING STAR<br>MORE INFO:<br>www.platinumsunset.com<br><br><small>OPEN: 23:00 *with flyer: ¥500 off!!*<br/>MENS: ¥2,500/1D LADIES: ¥2,000/1D<br/>* till 25:00. LADIES ONLY ¥1,000/1D *</small>  | <b>2</b> EVERY THURSDAY NIGHT<br><b>Apple Pie</b><br>@BX CAFE<br>DJ HARUKI, KOMORI<br><br><small>OPEN: 22:00 ¥3,000/1D<br/>* till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *</small>  | <b>3</b> EVERY FRIDAY NIGHT<br><b>PUNCH OUT!!!</b><br>@BX CAFE<br>DJ WATARAI, HAL, SAH &<br>SPECIAL GUEST!!!<br>DJ SHUNSUKE<br><br><small>OPEN: 22:00 ¥3,000/1D<br/>* till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *</small>  | <b>4</b> EVERY SATURDAY NIGHT<br><b>Kings Court</b><br>@BX CAFE<br>DJ SAFARI, INOUE, MOTOYOSI<br>DJ C.T<br><br><small>OPEN: 22:00 ¥3,000/1D<br/>* till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *</small>  |
| <b>5</b> SORRY...<br><b>CLOSED</b>  | <b>6</b> SORRY...<br><b>CLOSED</b>  | <b>7</b> EVERY TUESDAY NIGHT<br><b>RED ZONE</b><br>@BX CAFE<br>DJ KOYA, KANGO, KEN-SKE<br><br><small>OPEN: 22:00 ¥3,000/1D<br/>* till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *</small>         | <b>8</b> SORRY...<br><b>CLOSED</b>  | <b>9</b> EVERY THURSDAY NIGHT<br><b>Apple Pie</b><br>@BX CAFE<br>DJ HARUKI, KOMORI<br><br><small>OPEN: 22:00 ¥3,000/1D<br/>* till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *</small>  | <b>10</b> EVERY FRIDAY NIGHT<br><b>PUNCH OUT!!!</b><br>@BX CAFE<br>DJ WATARAI, HAL, SAH &<br>SPECIAL GUEST!!!<br>DJ SHUNSUKE<br><br><small>OPEN: 22:00 ¥3,000/1D<br/>* till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *</small>   | <b>11</b> EVERY SATURDAY NIGHT<br><b>Kings Court</b><br>@BX CAFE<br>DJ SAFARI, INOUE, MOTOYOSI<br>DJ C.T<br><br><small>OPEN: 22:00 ¥3,000/1D<br/>* till 24:00. ¥1,000/1D (with flyer) *</small> |

- ☎ : DJ
- ☎ : MC
- ☎ : GUEST DJ
- ☎ : SPECIAL GUEST
- ☎ : LIVE
- ☎ : DANCE SHOW CASE
- ☎ : VJ
- ☎ : OPEN UP DJ
- ☎ : HOST
- ☎ : INFORMATION
- BX CAFE** : HARLEM 3RD FLOOR

## ▶▶ EVERY TUESDAY "RED ZONE"

平日火曜日を9年もの間着実にプレイし続け、もはや週末と肩を並べる驚異的な集客力を誇る『RED ZONE』!! DJ KOYAとDJ KANGOの2人が創り出す空間は、まさに世界の先端を走り、日本ではここから発信されるものが流行となり、文化として根付くと言っても過言ではないであろう...

彼らの最先端を捉えるアンテナと、先を見据えた“先見の明”は絶対的な信頼がおける事は間違いなし!! 年齢・国籍・ジャンルの垣根を超えたワールドクラスのパーティー『RED ZONE』に足を運べば、これまで以上に“音楽”が楽しくなることでしょう!!

EVERY TUESDAY



RED ZONE

※24時までにFLYERを持参すると、¥1,000/1Dで入場することができます。

L>R: KOYA, KEN-SKE, KANGO



## ▶▶ BXCAFE "ROYAL FLUSH"

『RED ZONE』の上の階、BX CAFEにて毎週異なるテーマで開催されるWEEKLY PARTY『ROYAL FLUSH』!! 温故知新といったブラックミュージックの文化を、そのプレイで忠実に紹介してくれるのは、東京をはじめ全国各地、世界はマイアミにおいてもプレイ経験を持つDJ KEN-SKE!!

EVERY TUESDAY



ROYAL FLUSH

第1週目は、最先端からレア音源まで幅広い内容でお贈りする『BLUE CHIP』、第2週はダンスクラシックスを中心とした『ORANGE BLOOD』、そして第3週はブラックミュージックの神髄を深く掘り下げる『BLACK LOUNGE』、第4週はHIP HOPからHOUSEまで全てのダンスミュージックを網羅する『YELLOW MAGIC』、さらにレアな第5週目はDJ KANGO(RED ZONE)とDJ KEN-SKEが入替わる『特別な夜』『RED LIGHT SPECIAL』と、毎週火曜のパーティーとは単に言い表せない濃厚な『ROYAL FLUSH』フリークは増加の一途である...

## ▶▶ EVERY THURSDAY "APPLE PIE"

R&B PARTYの代名詞Apple Pie。その確固たるスタイルが打ち立てた金字塔はもはや数知れず、その勢いは留まるどころを知らない。鮮やかな花を咲かせた夏を終え秋を迎えるこの季節に、どんな果実を食らせてくれるのか。

EVERY THURSDAY



APPLE PIE

毎週木曜日の夜を色鮮やかに演出するのは、唯一無二のGROOVEでもはや右に出るものはいない、数々のドラマを映し出し、聴く人全てを魅了するスケールで音、Vibezを届ける男“Mr. Apple Pie” DJ HARUKI。その端麗な容姿からR&B王子とも呼ばれ彼のリアルタイムに体现するその世界観は現在進行形でR&Bシーンを牽引。メジャーや多方面での制作活動、現場では全国各地を飛び回りHARDEST WORKIN' DJの名を欲しいがままにするDJ KOMORI。そして後続に続く次世代R&B DJ陣が脈々と受け継がれるApple Pieの正統な血脈を更に進化させていけば、もう言葉では語る事の出来ない感動が貴方を含み込む。時にはメロウ&スウィートに、時にはキャッチーそしてメロディアスに、時には切なくドラマチックに一晚をApple Pieで過ごしてしまえば、もうそのR&Bの魔力の虜になってしまっているだろう...。11/18は“ボジョレー・ヌーボー”の解禁日! 極上R&Bと共にボジョレーも楽しめます!

※24時までにFLYERを持参すると、¥1,000/1Dで入場することができます。

L>R: HARUKI, KOMORI



## ▶▶ EVERY FRIDAY "PUNCH OUT!!!"

HARLEMが自信を持ってオススメするEVERY FRIDAY PARTY "PUNCH OUT!!!". シーンの最重要人物の一人でもあるDJ WATARAIを筆頭に、多方面での活躍が光るDJ HAL、そして今や飛ぶ鳥を落とす勢いで様々なEVENTから引っ張りだこのDJ SAHが満を持しての電撃参戦!!! さらに毎週様々なGUEST ARTISTが登場!!! WEEK ENDを艶やかに盛り上げます!!! "PUNCH OUT!!!" だからこそ感じ取れるARTISTとの一体感、一度味わってしまえば二度と忘れる事の出来ない感動と衝撃是非貴方自身で体感してください。

NOW PRINTING...



L>R: HAL, WATARAI, SAH

## ▶▶ EVERY SATURDAY "KINGS COURT"

衝撃の幕開けから1年。HARLEMの土曜の夜の歴史にその名を深く刻みこんだ『Kings Court』。DJ SAFARI・DJ INOUE・DJ MOTOYOSIの日本代表3DJと、HARLEM唯一のレギュラーMCであるC.Tの“4つの荒ぶる魂”の夢の競演。フロアは常に黄金の風に包まれ、その光は力強さを増し続けている。円山町から世界を震撼させ続ける伝説のParty『Kings Court』!!!!!! 君は時代の証人になる。



※24時までにFLYERを持参すると、¥1,000/1Dで入場することができます。

L>R: INOUE, C.T, MOTOYOSI, SAFARI



## 11/3・12/1. WED "DANCEHALL FLEX"

11/3のDANCEHALL FLEXは、文化の日にちなんでアーリータイムはSUNSET & BURSTRISEによるCULTURALなTUNE中心のセレクションでお贈りします。土臭いアーリータイムを是非ご堪能ください。もちろんメインタイムには最新ダンスホールもバリバリかかりますのでお楽しみに! さらにさらに、この日はいつものラバダブメンバーが一入5分という短い持ち時間ながらもライブショウケースにてパフォーマンスしていきますのでそちらもどうぞご期待! ダンスレポーターにはDJ YONCON from 笑隊も登場したりと何かと賑やかなこのダンス「DANCEHALL FLEX」をお楽しみに! ※1時までに入場の女性のみ¥1,000(1d)となっております!

SUNSET THE PLATINUM SOUND



BURST RISE



SOUND SYSTEM BY SUNSET the platinum sound

SHINING STAR

## 11/22. MON "DEEP IMPACT"

毎回超満員御礼! 視聴覚から入り込み脳の中核からつま先までDNAレベルで深い衝撃を与える“DEEP IMPACT”. 11/22.monの祝前日に開催決定! 今回フロアを激しく揺らすのはDJ MAYUMIにDJ KOMORIとマッチがない2人。PARTYを華やかに演出します! そしてなんと!!!!? まだここでは明かせませんが、SECRET GUESTがこの日限りのSPECIAL LIVE PERFORMANCEを披露! DEEP IMPACT、続報を震えて待て!!

MAYUMI



KOMORI

# PARTY REPORT



9.29.WED "BLACK SHAMPOO"  
DJ SAHがレジデントを務める(BLACK SHAMPOO)。毎回招く豪華ゲストの個性を踏襲し、一夜を通してHIP HOPを追求する...。今回のゲストはDJ KANGO! DJ SAHとのコンビネーションで、玄人をも唸らすパーティーを展開した。

10.6.WED "DANCEHALL FLEX"  
4月に大阪にて行われたDEEJAY CLASH "アダチマン vs PEQUU"の因縁のリマッチ開催! 両者ともに熱きバトルを繰り広げ、勝負は"アダチマン"に軍配が、サウンドはSUNSET・BURST RISE・SHINING STARに加え、大阪から"RODEM CYCLONE"がゲストで登場! レゲエフリークをラストまで満足させた。

10.9.SAT "Kings Court"  
COVER INTERVIEWでもDJ MOTOYOSIが触れていた「個性」の色が顕著に感じられ、PARTYの深化を辿る(Kings Court)。S級のDJがせめぎあうHARLEMの土曜日は、思つく暇も休む暇も無くアガリっぱなし! No Mash Up No Kings Court!

10.10.SUN "AUTUMN FESTA"  
サ・お祭りイベント(AUTUMN FESTA)。登場が期待されたDJ KAORIは残念ながら体調不良でお休み...。でありながらもDJ KOMORIが緊急登板! DJ SAFARIと共に祝日前のフロアを盛大に盛り上げた。

10.14.THU "Apple Pie"  
爽りの秋に爽りの音。確かな選曲とMIXでやはり聴かせてくれます。(Apple Pie)の屋台骨DJ HARUKI。DJ KOMORIもホームでのPLAYとあって、抜群の安定感でオーディエンスをきっちり昇天させてくれました。お酒もぼちぼち進みます。このPARTY、はつきり言って遊ばにヤン!

10.15.FRI "PUNCH OUT!!!"  
DJ TOYOのスムーズなMIXにDJ HALのアグレッシブでタイトなスクラッチ。そしてDJ WATARAIの重厚な音のストーリーが絡み合えばIt's A PUNCH OUT!!! World!!!! お客さんもオシャレでカワイイ女の子が多くて、自然とイレボに力が入ってしまいました...。冬が来る前に(PUNCH OUT!!!)でふぉーりんら♥

10.19.TUE "RED ZONE SPECIAL"  
-DJ Skribble JAPAN TOUR- 期待のアーティスト"DJ Skribble"が来日プレイ! その精巧なスクラッチと体全体を使ったパフォーマンスでオーディエンスをこれでもかと揺さぶった。多くの関係者も彼をチェックしに訪れ、後半にDABOの"テックパツ進行"がプレイされた時にはフロアは更に歓喜に沸いた。もちろんDJ KOYA・KANGO・KEN-SKEも火曜の夜を熱く賑わした事は言うまでもない。

# What's Craackin'!



# APPLEBUM®

45→2<23 Knit Cap : ¥5,880  
 Black Babylon Camo Hunting Jacket : ¥33,600  
 Every Little Step Crew-neck Sweat : ¥15,540  
 LIMA Used Denim Pants : ¥24,990  
 MODEL: DJ SAH

APPLEBUM × FRANK 151  
 "F" Babylon View NEW ERA CAP : ¥9,240  
 Lamb's Leather Jacket : ¥121,800  
 Ya basta T-shirts : ¥6,300  
 KATE Raw Denim Pants : ¥24,490  
 MODEL: DJ INOUE



ルーツミュージックをもとにヒップホップが生まれたように、  
 アジアを代表する大都市・東京で生まれ育った感覚を服作りに落とし込んでいるアップルバム。  
 さまざまなカルチャーが乱立する中で、黒人音楽やスポーツといった文化を選び取り、  
 2005年のブランド立ち上げ以来、大人が着こなせる上品なウエア作りを標榜してきた。  
 斬新な発想で人を驚かせる“FRESH”の感覚を、誰もが“ん？”と振り返ってしまうデザインで表現。  
 それは見た目がカッコいいというだけでなく、マニャクな感性を刺激する装置にもなっている。  
 その巧妙なまでの仕掛けは、日本国内だけでなくN.Y.やPARIS、LONDONなど世界各地で高い評価を受けている。



Black Babylon Camo Zip Jacket : ¥28,980      BLACK Watch Hood Jacket : ¥32,340      Back Logo Check Nel Shirts 2 : ¥13,860



YaBasta! Denim Jacket : ¥23,940      My prerogative T-shirts : ¥7,560      Nice! 12 Raglan T-shirts : ¥7,140



Melton P-coat : ¥49,560      Sunshine Poncho : ¥33,390      Vinyl Dot Synthetic Leather Jacket : ¥37,590

## PRESENT!!

■応募方法  
 お名前／ご住所／電話番号／希望のアイテム／HARLEM MAGAZINEに一言を添え、「present@harlem.co.jp」までメールにてご応募ください。  
 ※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。





ピッピ♥さん【うびよ〜(´▽`)】  
にゃんゆうさん【あつw☆】



こりんさん【楽し過ぎて毎回天国やわ〜♥】  
t-moさん【いつもお世話になってます。NO MUSIC NO LIFE】



カナさん【いちやりばちよーでー】  
みきさん【とつてもやばいデーツ!】  
さくらさん【オシャレでとにかくヤパー!】  
ゆうはさん【みんな美男美女(笑)】



ちーさん【これからもずっとHARLEMのままで!】



by HARLEM



ひゃんさん【今後も期待してます♥】  
chatoさん【HARLEM最高!!】



YOKOさん【HARLEMよく来ます♥ R&B最高!!】  
へんさん【ハロウィーン来ます!】



あすみさん【楽しいです☆】



ランさん【毎日来よう!】  
ナナさん【毎日来たい!】

NICKI MINAJ [ニッキー・ミナージュ]



誰もが欲しが  
フィーチャリング・クイーン。

2010年、数々の大物コラボレーションにフィーチャーされた注目度No.1アーティスト。  
女性としては7年振りに全米ラップ・チャートを制覇。  
RUN DMCからNASまで世に送ったNYクイーンズ出身、ヒップホップ“女王”遂にデビュー。

- 全米No.1ラッパー、リル・ウェインが率いる、ヤング・マネー・レーベルのファースト・レディー!
- マライア・キャリー、リル・ウェイン、アッシャー、ショーン・キングストン等大物アーティストからコラボ依頼される実力派ラッパー/シンガー。
- リード・シングル「チェック・イット・アウト」は、ブラック・アイド・ピースのウィル・アイ・アムとのコラボレーション・トラック!
- ヤング・マネーの「ベッドロック」に参加、全米ラップソング1位を獲得!
- 「ユア・ラブ」、女性ラッパーとして7年ぶりに全米ラップ・チャート1位獲得!



WILL.I.AM & NICKI MINAJ  
“CHECK IT OUT!”  
着うた®、着うたフル® 10月20日配信



Album  
“Pink Friday”  
2010.11.23 輸入盤発売

www.universal-music.co.jp/  
freshschool.jp

NELLY [ネリー]



■そんな『プラス・ナックルズ』を踏まえて、今回はどんなアルバムを作りたいと考えましたか?  
今回は、曲順とかテーマとか色々考えないで、ストレートに音楽を作ったかったんだ。自然に出てくるものを形にしたかった。デビューした時もそういうやり方だったし、セカンドアルバムの時もそうして。俺達アーティストって、何かがあるに簡単に生まれてくると、間違ってるような気がしたりするのは事実で、「これでいい訳ない。もっと力入れない」となんでさ。そういったことを全くしないアーティストもいるけど、要はアーティストによって“力み過ぎない人もいれば、力み過ぎる人もいる”ってこと。でも、これまでの経験を踏まえて一番大事なことは自分自身がバランス良くやっていくことなんだと気づいた。だから今回はNELLYらしく“自然体”でやってみたってわけ。

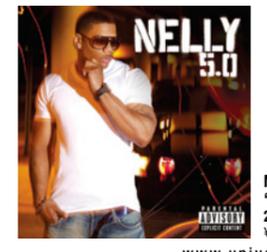
■タイトルの『5.0』は『スーツ』と『スウェット』をワンセットと考えるとあなたにとって通算5枚目のアルバムであることに由来していると思うのですが、もうひとつ、「フォード・マスタング」にインスパイアされているところもあるそうですね。そのあたりを交えて、このアルバム・タイトルに込められた真意(フォード・マスタングへの思いなど)を詳しく教えてくださいませんか?  
全てが「フォード・マスタング」にインスパイアされているわけではないよ(笑)。車に興味ある人なら分かると思うけど、「フォード・マスタング」といったらUS産マッスルカーの代表車だろ? オリジナル車種の一つだし、まさにクラシック(一流品)なわけだ。俺はこのアルバムがそんなクラシックな作品になってくれることを願ってるんだ。そして俺のお気に入りの映画の一つで『Menace II Society』というUS映画があるんだけど、俺は幼いときこの映画が大好きでよく観てたんだ。この映画の中で、登場人物のCaineが車を手に入れるんだけど、それがマスタング5.0だったんだ。幼い時の憧れもあってこのマスタング5.0はずっと欲しかったんだよ。もちろん当時は運転できないし、車を持てるような年齢ではなかったけど、運転できる年齢になってからは「あの車が絶対欲しい!」って思っていたのに、やっと買えるだけの金が稼げるようになった頃にはすでに生産終了になっていたんだ。だからこのアルバムを使ってフォードにアプローチをかけたわけ。マスタングは作ってるのは分かってるけど、5.0版のマスタングを再生産してほしかったからさ。俺にとっては凄く価値のある車だからね。そしたらなんと俺の声が耳に入ったのかDUBマガジンとコラボで製作するマスタング5.0をオスがデザインすることになったんだよ。最高にHOTな内容だったし、彼らには本当に感謝しているよ。

■ちなみにフォードとのコラボレーションはいつ始まったのですか?  
この2年ぐらいの間でフォードとはすでに関係があって、いくつかのことを手がけてきたんだ。今もなお素晴らしい関係を築いてるよ。これだけ伝統ある、自動車業界の王家的存在のフォードとどうして仕事ができるのは本当に素晴らしい名誉であることだと思ってる。考えてみれば自動車業界に置ける王者だからね。そんな傘下に立てるっていうのは、最高の気分だよ。

■そのほかに込められたアルバムタイトルの意味はありますか?  
先ほども言ったとおり、マスタング5.0が一流のマッスルカーであるように、このアルバムも一流のネリー・サウンドを表した作品になってるってこと。この作品には値するだけのエネルギーも雰囲気も盛り込まれてるし、スピード感というかアドレナリンも、5.0に見合うものが入ってる。それと勢いのあるインパクト。「時間を無駄にしないで、焦点にガンと行こうぜ」みたいなさ。

■先ほど、テーマなどはあまり考えないで製作に取りかかった、と言っていましたが、結果的に生まれた今作のコンセプトは「クラシック(一流品)」と言って間違いではないですか?  
皆がこのアルバムを聴いたときにネリーの音楽として一流品だと思ってくれることを祈ってるということだね。判断は俺じゃなくて、常にファンが下すものだからね。どのアルバムが好きかとか、どのアルバムが最高だったかっていうのは、ファンそれぞれの意見があると思ってる。でもやり方はクラシックなアプローチをとったつもりさ。とにかくストレートに挑んでヒットをガンガン生むってやり方だね。

※まだまだ続く、NELLYのロングインタビュー完全版はWEBに掲載!  
www.harlem.co.jp >> HARLEM MAGAZINEのコーナーにて。



NEW ALBUM  
“5.0”  
2010.11.24 IN STORES!  
¥1,980 (TAX INCL.) UICU-1203  
www.universal-music.co.jp/  
www.nelly.net

# ワインフェア!

Wine Fair



ボジョレーヌーボー解禁まで  
待ちきれないあなたの為に、  
ワイン各種を  
お得な価格にてご提供!

グラスワイン 赤/白  
ワインクーラー  
キール

ALL ¥500!

HARLEM MEMBER は、さらにお得なプライスで!!

ボジョレーヌーボー  
11/18(木) 解禁!  
ボトル：¥5,000  
グラス：¥800

※ボジョレーヌーボーは  
ディスカウント対象外となります、  
予めご了承下さい。

## バーテンダーBABAのちょっと豆知識の知ったげコラム

どうも! 3F BX CAFEバーテンダーのBABAです。もう気づけば11月ですね。今年も残すところあと2ヶ月です。この前まだ冷房をつけて暑がっていたのに…。1年なんてあっという間ですね。話は変わりますが11月といったらもちろんその「解禁」で毎年話題のボジョレーヌーボー! 解禁日はフランスの法律で決まっていますが、11月の第3木曜日と全世界共通なんです。フランス人は解酒に今年収穫した葡萄で造ったワインをおろして、1年の労働の成果を喜び合うということなんです。解禁日はそういうお祭りの意味合いが強いんですね。ここで豆知識! ワインは一般的に何年も寝かせたほうが美味しくなると言われているのになぜボジョレーヌーボーは作られた年のものしか美味いとされないのか…? 通常の製造工程で作られたワインは完成した後、樽で寝かせておくことでまろやかに深みが出て、飲みごたえのあるワイン

へと熟成させていきます。ところがボジョレーヌーボーは原料も違えば製法も異なり、新酒の状態を楽しむ為だけに作られたワインなので、翌年まで寝かせるなんて論外なんです。ボジョレーヌーボーは新鮮なうちに飲みきらなければならないんです。また、なぜ日本で毎年こんなに話題になるのかというと、もちろん日本人にワイン好きが多いということもあるのですが、一番の要因は「日付変更線の関係で世界で日本が一番早く解禁」するからなんです。時間に換算するとフランスより8時間も早いんです。世界のワインの愛好家でわざわざその為だけに日本に来る人も多く…。ちなみに、日本は世界のボジョレー出荷数の約

40%を消費するそうです。とんでもない消費量ですね。日本人がお酒が大好きなのがこれでも分かりますね(笑)。色が綺麗で香りもよし、尚かつフレッシュでライトな飲みやすい赤ワイン、これこそがボジョレーヌーボーの最大の魅力。これを読んでいたら少し飲んでみたくなってきたのではないのでしょうか? 飲んだことがない人もHARLEMに遊びに来た際には是非飲んでください! ちなみにHARLEMのボジョレー解禁日は「Apple Pie」の日、11月18日の木曜日です。極上のR&Bを聴きながら解禁されたばかりのボジョレーヌーボーを飲んで楽しんでみては!? そんなこんなでバーテンダーBABAのちょっと豆知識の知ったげコラム終わりです。



**DJ HAL x KICKS LAB.**  
TOKYO CLUB FREAK W NAME EDITION

スニーカー好きによる、スニーカー好きのためのMIXCD!!  
収録曲は、すべてスニーカーブランドとコラボしたアーティストのみ!

**2010.11.26 ON SALE!!**

THIS BOX INCLUDE:  
DJ HAL'S KICKS MIXCD  
SHOE ACCESSORIES  
KICKS & MUSIC LOVERS ONLY

more informations at  
SUGARBITZ CO.,LTD./www.sugarbitz.com  
KICKS LAB./www.kickslab.com/

激レア!!  
Wネーム・スニーカー  
アクセ付き!  
数量限定発売!

### DJ TOYOのトウルット NYC

もう今年もあと2ヶ月かあ…、早いもんですね。気づけばもうすぐ30かあ…、早いもんですね。なんてノンビリと書き出してしまいましたが、決して文字数稼ぎではありませんよ。なんたってあんまり長いと全部載せきれなくて途中からweb送りになってしまうとの忠告を受けていますので! ではでは本題に入りましょうか!

今回は何について書くのかといいますと、9月の終わりにトウルットNYCに行ってきたのです。そのレポートを提出しようかなど、今回5泊7日というスケジュールだったのですが、とても濃い旅行となりました。一体何をしてきたか? 基本昼間は「THE・観光」という動きをしていました。自由の女神を覗に行ったり、Empire State Buildingの展望台に登ったり、本に載っているようなお店でメシを食べたり、買物したりと歩きに歩いたというわけです。でもHARLEM MAGAZINEを読んでいる皆さんはやはりCLUB好き!! もちろんNYCの夜の方も行ってまいりました。「すべてを覗いた!」というわけでは全然ないのですが、毎日毎日夜な夜な行ってまいりました。自分の聴きたいDJをCHECKして毎晩違うCLUBへ。CLUBへ行ってみても驚いたのは日本ではCLUBに入るのにお金が掛かるのが当然ですが、NYCでは私は入るのに1回もお金が掛かりませんでした。全ての場所でそんなのは定かではないんですが、向こうのDJに聞いても「お金は掛からないよ。」と言っていました。「だったらその分まで飲むでしょ〜!」ということで良いDJのPLAYで心地よく!? 酔わせて頂いたわけですね。

しかしながらホントにNYCはあちこちで大小様々、たくさんのPARTYが毎日行われていました。「どこに行けばいいのやらっ。」という感じでした。そんな中で今回はTOP 40のPARTYから90'sのHIP HOP、R&B、REGGAE、HOUSEのPARTY、はたまたHOUSEのPARTYまで幅広く遊びに行く事が出来ました。そんな中でも行ったPARTYは全てたくさんのお客さんが遊びに来ていて好きな曲は歌っちゃう。「いいなあ〜、ごううの!」なんてシミジミ感じてしまいました。企画外な女子のカイデ〜なツ〜ケ〜で突き飛ばされそうになっても笑顔はくずれない!!「アリ、アリ。」なんて! 思ってしまう次第です。自分なりにチョット思った事は、向こうの人はこっちでいうカラオケに行く感覚でCLUBに行ってるんじゃないかなあ〜とか思っ

たりしました。AFTER的なねっ。でもホントDJもお客さんも…うん。色んなことが勉強になった、サイコ〜のCLUB体験でしたっ。

そうそう、今回CLUB以外にぜひ本場で観たかったものがありまして、それがLIVEだったんですが、タイミングよくM.I.A.のLIVEを観ることが出来ました。現地の雰囲気や体中に浴びながらのLIVE! こっちで観るのはまたちょっと違う良さがありました。「あ〜、カワイイ。」なんてずっと思いながら観てたわけではありせんよ! LIVEが終わり外に出るとフライヤーを配っている人がいたのでもらってみると、なんとQ-TipやBusta Rhymesが出るLIVEのフライヤーではありませんか! しかし残念。日付を見るとちょうど帰ってしまった後。「くそ〜。」なんて思いつつもこういったLIVEが日常茶飯事! 実に羨ましい。でも今回のNYC旅行も色々な体験ができました。ヨシでしょう〜。今回の旅行で真っ先に思った事は「5日じゃ足らん。」ホントあつというま。寝る暇なんてないくらいに色々な場所に行きました。「絶対来年も行こう。」と心に誓ったのでした!

# 天国と地獄 ~HARLEM KICK-BASEBALL 2010~

Written by KOHEI TAMURA (HARLEM)

日本HIP HOPの歴史を塗り替える衝撃作『HI-FIVE』発売を記念して、今回の『天国と地獄』は円山町が世界に誇るラッパー・DABO氏をゲストに招いた特別版。HARLEM STAFF対DABOチームによる夢のキックベース対決。DABOチーム勝利の場合、全HARLEM STAFFが営業中に【HI-FIVE】Tシャツ着用でプロモーション。我がHARLEM勝利の場合、『天国と地獄』ムービー版のオープニング用のジャケットを頂くというガチンコ対決。今、威信をかけた男たちの決戦の火蓋が落ちる！メラメラララ!!!

DABOチームのメンバーはNITRO MICROPHONE UNDERGROUNDより盟友・SUIKEN氏が友情参戦。そしてニトロマネージャー・小竹氏、HARLEMの治安を守り続けるセキュリティ・梅津氏 (TESS) という豪華布陣にHARLEMベンチより数名がレンタル移籍。「3番サード梅津」、「4番ファーストDABO」、「5番ライトSUIKEN」というエッジの効いた重量打線を形成。対するHARLEMは兼職監督のもと、過酷なトライアウトを勝ち抜いた勢いのある若手主体の布陣。ニトロ世代がスラリと並んだこのチーム、果たして偉大なる本人たちを目前にして実力を出しきれるのか？真価が問われる大舞台。秋晴れが心地いい緑豊かな世田谷のグラウンドにて、いざプレイボール！アルバム【HI-FIVE】が爆音でグラウンドに響き渡る。

先攻はDABOチーム。初回一気に攻め立てたいところ。HARLEM「サード今井」が芸術的ファインプレーを連発し、DABO軍の攻撃を完全に封じ込める。さすがは野球王国・広島元野球少年。その裏、HARLEMはPA諸富の適時打で1点を先制。さらに連打で満塁とするも、DABOチーム気迫の守備で何とかピンチを凌ぐ。3回表、4番打者・DABO打席時にBGMが大ヒット曲『デッパツツツ』になると場内の空気が一転。バッターボックス内でデッパツツツを披露しそのまま出塁するDABO。SUIKENもレフト前安打で続き満塁。続くヤーマン弘田の内野ゴロの間に同点とする。その裏は先発ヤーマン弘田の体を張った闘志あふれるプレー&ライトSUIKENの好守備で無失点。続く4回表はDABOの痛烈なレフト前ヒット、一塁走者・梅津激走で本塁生還！遂に逆転!!! 流れはDABOチームに傾いたかと思われた。しかしその裏の守備時にアクシデント勃発。先発投手・ヤーマン弘田が体を張った献身的プレーの代償に足を負傷し涙の降板。「名誉の負傷や!!」守護神・梅津が中盤戦でマウンドに上がるという非常事態に。守備位置の整っていないところをHARLEM軍は攻め立て2点をもぎ取り再逆転に成功！試合の流れをグググッと引き寄せた。しかしここで再び事件が起こる。バックネット裏には何と、泣く子も黙るR-RATED総帥・RYUZO氏の姿が！DABO軍の監督としてグラウンドに降臨した。ベンチが締まる。DABO軍はこの勢いのまま5回の表の攻撃に突入。ここでBGMは2010年日本語ラップ最大のアンセム『I REP』に。重々しいグラウンドの空気がガラリと一変する。韋駄天・FUJI-Eが内野安打で出塁。自慢の後足で守備の瞬間の乱れを付き、一塁3塁へ。続く新人ミヤイチがセーフティスクイズ。執念のヘッドスライディング。その場の全員が息を飲む。判定は「セーフ!!!」価千金の同点タイムリー!!! 二人の若きHARLEM STAFFがHARLEMチーム落選の悔しきを見事に大舞台で爆発させた。歓声が鳴り止まない。その裏はDABO軍圧巻のディフェンス。外野への大飛球をSUIKENが好フィールディングでキャッチ。守備でチームを盛り上げる。その後2死からPA諸富の3塁打。HARLEM軍は一打勝ち越しの場面を迎える。打者はHARLEM期待の若き主砲・藤重。ここで大魔人・梅津の豪速球が炸裂。藤重を力で完全にねじ伏せ三振。豪腕でスコアボードに0を刻んだ。さあ手に汗握る熱戦は遂に最終回。打順は4番DABOからという最高の展開。BGMは『オレヨマケンナ』。ドンビチャ! しかし

ながら打球はセンターフライ。1アウト。続いてゴールデングラブ級の好守連発のSUIKEN。「ズドン!」高く打ち上げられた打球は無修にもピッチャーフライに。天を仰ぐSUIKEN。2アウト。次の打者MATZMIはセーフティバント。成功。泥臭くても塁に出た。勝ち越しのランナー。奇跡の生還なるか。ここでDABO軍ベンチが動く。「代打、サッカー部!」最高にシビレル場面でまさかのベンチの一番奥にいたサッカー部こと益哉。本人が一番驚いたに違いない。遠い昔にサッカー経験アリという可能性に賭けたDABO軍の全てを背負い、大歓声&大爆笑の中恐る恐る打席に向かう。HARLEM軍も守備位置を万全の『益哉シフト』に。これぞ兼職采配。いざ勝負。落ち着いてボール球を1球見送る益哉。一瞬の静寂。そして2球目。「ドゴッ!!!」打球はグングン伸びて外野へ。フェンス一歩手前レフト・ザキがキャッチで万事休す。これでDABO軍の勝利は無くなった。最大のピンチを凌いだHARLEM軍は最後の円陣を組む。「絶対勝つ!!!!」、「オオッ!!!!」今こそHARLEMの旗の元、HARLEM魂を見せる時だ。「ピンチの後にチャンスあり」という野球界の格言通り、HARLEM軍は連打で満塁、一打サヨナラの場面を迎えた。バッターはエースとしてここまで力投を続けて来たHARLEM広報部のSHOWKIX。投手は孤独である。心身ともに疲労は限界を越えている。一世一代の大舞台。梅津投手の渾身のストレートが唸りを上げて襲いかかる。「バイーンツツ!!!!!!」打球は外野へ一直線。センターFUJI-Eの頭上を...、越えた!「うおおおおおつ!!!!!!」拍手喝采!! サヨナラ勝ち!!! HARLEMチームが見事に死闘を制し、歴史的1勝を手に入れた。ゲームセット。最後の整列中も込み上げる悔しさを抑えきれないSUIKEN氏。それをなだめるDABO氏。気づけば夕暮れ時のグラウンドに『SWEET 90's BLUES feat. SUIKEN, K-BOMB』が甘く切なく響き渡る。日本を代表するラッパー・3氏が悔しさを滲ませる。DABO選手は試合後「スポーツはちっともSWEETじゃなかった。遊びでこの結果は誠に申し訳なく感じています。悔しいマジで。」と落胆。RYUZO監督は「守備も打撃も全然ダメ。またリベンジするから。」と再戦を要求。対して見事なサヨナラ打を放ったSHOWKIX選手は「最後の打席は緊張しすぎて覚えていない。この勝利をHARLEMに捧げたい。」そして勝利監督の兼職監督は「日頃HARLEMで培ったチームワークの勝利。」と締めた。戦いを終えた男たちの周りを秋風が寂しそうに通り返る。勝敗を超越した何かをそこに残して。それは何物にも代えられないキラキラヒカル時間だった。

今回リリースされる【HI-FIVE】がこの名勝負を演出したのは言うまでもない。この歴史的超大作を制作中もDABO氏はいつもHARLEMにいた。円山町にいた。リアルでいた。HARLEM STAFFイベント『SHIBUYA IZM』では世界のハウスタンサーPINO氏と伝説のステージも披露してくれた。いつも我々ヘッズの側にいてくれた。けどストリートヒーロー「だけ」の人ではない。2010年、日本語ラップは大きな大きな炎を上げて世界へ向けて燃え始めた。時代が大きな大きな音をたてて動き始めている。円山町が世界が変わろうとしている。その象徴の一つが【HI-FIVE】である。円山町は燃え上がっている。そして俺たちにはいつもDABOがいる。

今回リリースされる【HI-FIVE】がこの名勝負を演出したのは言うまでもない。この歴史的超大作を制作中もDABO氏はいつもHARLEMにいた。円山町にいた。リアルでいた。HARLEM STAFFイベント『SHIBUYA IZM』では世界のハウスタンサーPINO氏と伝説のステージも披露してくれた。いつも我々ヘッズの側にいてくれた。けどストリートヒーロー「だけ」の人ではない。2010年、日本語ラップは大きな大きな炎を上げて世界へ向けて燃え始めた。時代が大きな大きな音をたてて動き始めている。円山町が世界が変わろうとしている。その象徴の一つが【HI-FIVE】である。円山町は燃え上がっている。そして俺たちにはいつもDABOがいる。



## ARE YOU HARLEM ?



熱きアーティスト達の真実の言葉の数々...  
HM [HARLEM MEMBER] 限定メルマガ絶賛配信中!



**RYUZO**  
SKI BEATZ プロデュースの日米合作コンピ『24 HOUR KARATE SCHOOL JAPAN』が話題騒然。



**SUIKEN**  
全ヘッズ待望の最新アルバム『DEVELOPMENT』が大絶賛発売中



"Escalators"

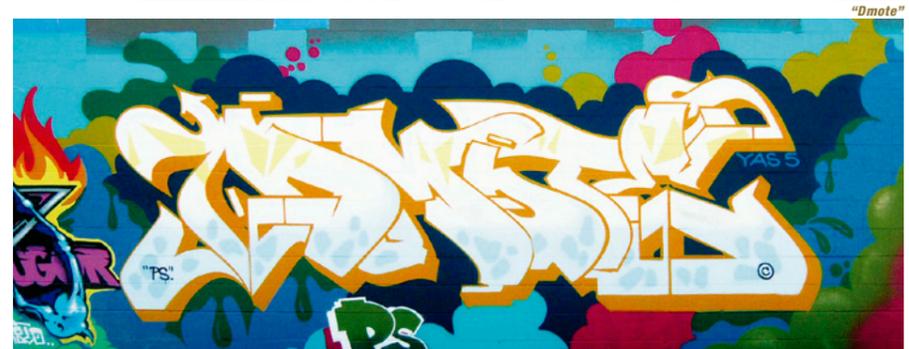


"How, Nosh"

"Dmote"



"Lazoo"

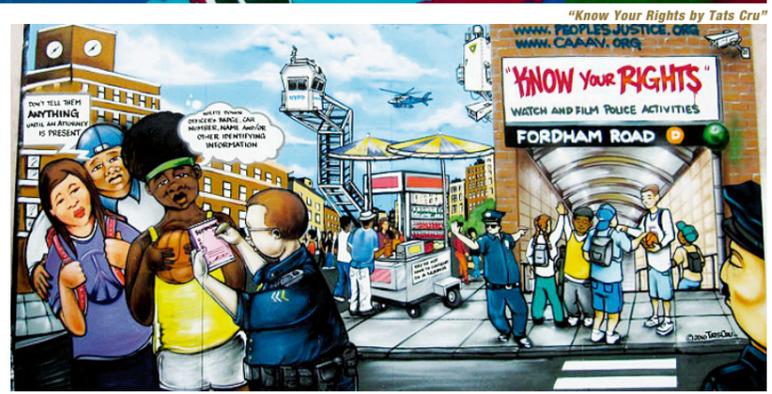


"Won"

"Know Your Rights by Tats Cru"



Edited by Yas 5 All photos provided courtesy of Yas 5th, How & Nosh, Tats Cru, Won, Lazoo  
Special thanks to Tats Cru, Nicer, Bio, BG 183, How, Nosh, RAL, Won, Shame, ABC, Dmote, Daze, Crash, Lady Pink, Smith, Lazoo, Kongo, Juan, Gokan, Pwoz, Vision, Soklak, Mac Crew, Kosmopolite, Seen, Duster, Meeting Of Styles, Brim, Just 195, Nasa, Totem 2, T Dee, Mear One, Zedz, Wane, Tuff City Bronx, Ces, Med, T-Kid, West, Dash, Lyrical God, Nine Rulaz, Mighty Crown, Fire Ball, Irie Life & Irie Berry, Vinyl Junkie, Hitoshi, Nesta Brand, Overkill, Mode 2, Andre, Carhartt, Creative Color, Montana Hardcore, Montana 94, Posca, Krylon, Painter's Touch, Ironrak, Crash Paint, Molotow, K-12 by Krink, Blubber Colors, Rust-oleum, Elsa, Chilli yas5live@f7.dion.ne.jp



## THE SIGN OF PROOF comic

**I RECOMMEND**

毎週日曜日、ASIAN STARが渋谷27Destinyにて主催している話題騒然のREGGAE DANCEHALL PARTY!! "CARIBBEAN SUNDAY" このPARTYのHOSTを務めるASIAN STARから、"CARIBBEAN SUNDAY MIX" が10月20日に登場する!! 内容は、このPARTYのオーディエンスが熱狂しているSEGUMENTをASIAN STARがMIX!! このMIX CDを聴いてからCARIBBEAN SUNDAYのPARTYに遊びにきたら100倍楽しめる事間違いなし!! EVERYBODY HAFFI CHECK DA MIX CD ZEEEEEEEEEE!!!

今回はASIAN STARの『CARIBBEAN SUNDAY MIX』でした。 to-be-continued?

# The WeekEnd Playlist

Selected by DJ HAL, DJ SAH  
from Every Friday Party "PUNCH OUT!!!"



## DJ HAL

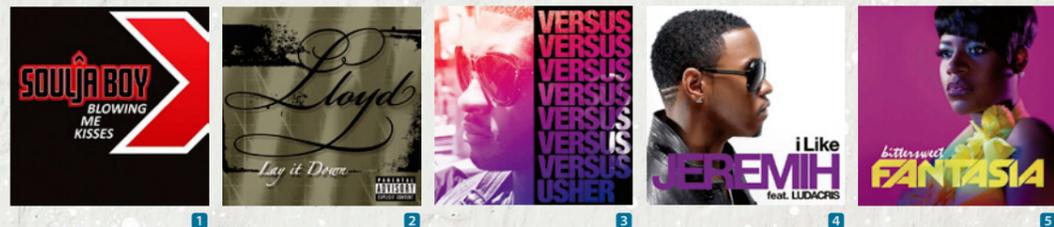


- 1 Where You Are / Cali Swag District
- 2 I Want You Back (Pwl Remix '88) / The Jackson 5 & Michael Jackson
- 3 I Know You Got Soul / Eric B & Rakim
- 4 Paid In Full (European Remix) / Eric B. & Rakim
- 5 Soul Brother #1 / Pete Rock & C.L. Smooth
- 6 WAKE UP!! / J.Period, John Legend & The Roots

DJ HALです！ 寒くなりましたね～！ それとは対照的に、いや～それ以上に『Punch Out!!!』を暑い夜にして行きますので皆さん是非遊びに来て下さいね！ ご挨拶はこの辺にしておいて、今回は『Our Generation』を軸にして前後含め最近よくやる流れを紹介します！  
①～②もちろんMichael繋ぎですね、Where You Are好きですね～、女の子も好きなんじゃないかな？ Popで華やかだしこの流れはI Want You Backを引き立ててくれますね！ ってめちゃめちゃ絶賛してますがジャケの右上の奴が顔怖過ぎ(笑)。曲のテンションに合っていないよ～！  
②～③これはもう説明不要でしょ？ 同Beat繋ぎです。

③～④こちらもリリック繋ぎでやってますが、オリジナルティを出すために(バイパス高め時は…)『ポットパーユー♪』部分をLoopさせてPaid In FullのBeatに合わせてScratchしてます！  
④～⑤こちらもリリックつながりです、『Sweet Soul Brother～』のエロ～いお姉さんの声から行く感じでSoul Brother #1意外と盛り上がるんだな～！  
でお待ちかねの⑤～⑥に続きます！ 決してイケイケなMixでは無いですが、Our GenerationのおかげでClassicsとか混ぜやすいし、自分はよくスピンしますね！ ってかジャケットも相当かっこいい！ 見所満載ですな！

## DJ SAH



- 1 Blowing Me Kisses / Soulja Boy
- 2 Lay It Down / Lloyd
- 3 Lay You Down / Usher
- 4 I Like / Jeremih
- 5 Bittersweet / Fantasia

秋は人肌恋しい季節ってことで…。恋愛モノをチョイスしてみました。  
まずSoulja Boyの新课。リリック途中で、あの“電話ごしにキスして”のフレーズが登場します！フロアで男女が向かい合って踊って欲しいですね。お次は、この前来日してたLloyd。ギャル受け抜群で、最近必ずプレイしている曲です！ライブではこの曲の後Young Money/BedrockにいくというDJ的にもパッチリな流れでした。  
そして、ここからはSlow Jamを3曲。  
やっぱりこういう曲を歌わせたらUsherは間違いない!!! Album "Versus" からの曲です。メインタイムではなかなか聴けないと思いますが、遅い時

間とかにかかった時にはゆっくり体を揺らして踊って欲しいですね。  
そして個人的にも大好きなJeremih (ちなみにジェレマイって読みます。) サビでLove your body, Rub～, hug～のライミングが絶妙すぎます。エロ心地良いですね～流石です！  
最後は1月に来日予定のFantasia。この曲マジで切ないです。別れたことに後悔するみたい…。Bittersweet…。歌も上手いし、共感できるころはあると思うので、ぜひ1度聴いてみてください。今回はこんな感じで選曲してみました！これから毎月、チェックして欲しいと思う曲などをDJ目線で紹介できればと思っています。

# HARLEM × ANAP® DOUBLE NAME TOTE BAG

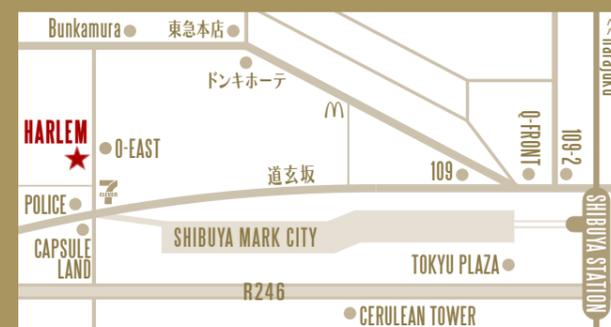


大好評のままに終わった、HARLEM×ANAPのトートバック！ 問い合わせ殺到の大反響のなか、なんと再生産が決定！

10/20～11/30の期間に新規で[HARLEM MEMBER]に登録された女性の方。現在[HARLEM MEMBER]に登録済み方(女性限定/抽選で100名様)にHARLEMからプレゼント！

みなさん！ これが最後のチャンスです！ 今すぐ[HARLEM MEMBER]になってHARLEM×ANAPの限定トートバックをGETしよう！

新規MEMBER登録はコチラから



DR. JeeKahn's 2F, 3F, 2-4 Maruyama-cho, Shibuya-ku Tokyo, 150-0044 JAPAN Phone. 03-3461-8806 e-mail. otaken@harlem.co.jp

● ご注意 ●  
※HARLEMでは未成年の方のご入場は固くお断りしております。  
※ご入場の際には、写真付の身分証明書の提示をお願いしています。予めご了承下さい。

## GUIDE OF FACILITIES



**MONTHLY "HARLEM MAGAZINE"**  
**SPIT'EM OUT!**  
"It's Absolutely Raw"  
This Magazine gives y'all Hip Hop Headz the Real Words from the Real Scene...  
**Volume.032 - Issue.159 - NOV. 2010**

Publication: Otanoshimi Kenkyujo Inc. 6F, 2-1-10 Ebisu-minami, Shibuya-ku, Tokyo 150-0022 Japan Tel. 03-5768-4910 Fax. 03-5767-4912 e-mail. otaken@harlem.co.jp  
Editor in Chief: Dai Ohta Editor: Atsushi Nakazawa, Akiko Sasaki, Nobuhisa Mikasa, Shin Onodera, Shoki Sato Art Direction & Design: Takashi Wakamatsu - Camel D.F.  
Special Thanks: DJ Motoyosi / Tomofumi Nakayama / DJ Sah / DJ Mike-Masa / DJ Atamaki / Yas 5 / DJ Hal / DJ Toyo / Takeshi Hasegawa / Ya-man Hirota / Kohei Tamura & All HARLEM Peoples  
Contents & Design may not be reproduced without the express permission of the Publisher. ©2010 Otanoshimi Kenkyujo Inc. All rights reserved. Printed in Japan.  
■残念ながらシーズン3位、敗者復活戦でも敗れました。しかし、あの最後に見せた粘っこの攻撃を来季に繋げて欲しい。強い巨人を持つぞ！ [ピカル]  
■10月はなんだか体調が悪い1ヶ月でした。周りでも体調を崩している人が多いこの時期、だんだん忙しくもなってくるし、気をつけたいな。 [ピーノ]  
■今度は奥歯の根元が高かったため歯医者に行きました。「歯肉炎？」くらいに思っていたら、まさかの抜歯…。トホホ～ [うに?]  
■それでも前を向いて進んで行かなければいけないわけです。 [T.N.T]  
■さて皆さん11月ですよ！ 今年もあと2ヶ月2010年やり残しが無いように頑張ってください！ [SHOWKIX]